



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 天昇電気工業株式会社  
 コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理統括 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,627	2.4	275	15.5	289	29.7	196	34.3
29年3月期第1四半期	3,715	8.0	326	211.2	222	115.5	146	35.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 179百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 4百万円 ( 95.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.87	
29年3月期第1四半期	8.86	8.81

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	15,382	4,681	30.4	282.06
29年3月期	15,119	4,551	30.1	274.23

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,681百万円 29年3月期 4,551百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				3.00	3.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,900	6.3	400	35.5	370	22.9	250	27.4	15.06
通期	16,000	4.1	920	28.1	860	32.4	580	39.8	34.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	17,014,000 株	29年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	417,836 株	29年3月期	417,501 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	16,596,392 株	29年3月期1Q	16,566,863 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	P5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	P6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P7
(セグメント情報等) .....	P7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策などにより雇用・所得環境や企業収益の改善が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、米国や欧州の政治情勢の不確実性から、景気の先行きに関しては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは前連結会計年度に引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善や生産設備の更新により生産効率の向上及び原価低減に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、特に自動車部品の売上が減少したこと等により、売上高36億27百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。損益面におきましては、徹底した原価低減は継続しておりますが減価償却費の増加等により営業利益2億75百万円（前年同四半期比15.5%減）、営業外収益に為替差益及び持分法による投資利益を計上したこと等により経常利益2億89百万円（前年同四半期比29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億96百万円（前年同四半期比34.3%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

自動車部品は、新型車の生産台数が前年同四半期比減少したこと等により売上高は減少いたしました。物流産業資材や雨水貯留浸透槽製品の売上高は引き続き堅調に推移いたしました。この結果、売上高は34億43百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益につきましては、減価償却費の増加等により、1億92百万円（前年同四半期比21.8%減）となりました。

## 中国成形関連事業

中国国内では、物流産業資材及び機構部品品の売上拡大に努めておりますが、販売不振が持続し厳しい状況で推移いたしました。この結果売上高は78百万円（前年同四半期比4.9%減）、セグメント利益につきましては、徹底した原価低減、販売管理費の削減等により、0百万円（前年同四半期1百万円の損失）となりました。

## 不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は1億5百万円（前年同四半期は1億5百万円）、セグメント利益82百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、153億82百万円（前連結会計年度末比2億63百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金32億58百万円（前連結会計年度末比4億7百万円増）、受取手形及び売掛金が23億83百万円（前連結会計年度末比3億25百万円減）等により77億97百万円（前連結会計年度末比1億3百万円増）となりました。

固定資産は、有形固定資産64億32百万円（前連結会計年度末比1億77百万円増）、投資その他の資産10億59百万円（前連結会計年度末比11百万円減）等により75億85百万円（前連結会計年度末比1億59百万円増）となりました。

## ②負債

負債合計は、107億1百万円（前連結会計年度末比1億33百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金30億62百万円（前連結会計年度末比9億98百万円減）、電子記録債務7億84百万円（前連結会計年度末比7億84百万円増）等により69億5百万円（前連結会計年度末比4億26百万円増）となりました。

固定負債は、長期借入金30億17百万円（前連結会計年度末比2億67百万円減）等により、37億95百万円（前連結会計年度末比2億93百万円減）となりました。

## ③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定の変動等により46億81百万円（前連結会計年度末比1億29百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,850	3,258
受取手形及び売掛金	2,709	2,383
電子記録債権	937	891
製品	313	379
原材料	432	436
仕掛品	46	51
その他	403	395
流動資産合計	7,693	7,797
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,127	2,139
土地	2,610	2,610
その他(純額)	1,516	1,682
有形固定資産合計	6,254	6,432
無形固定資産	99	93
投資その他の資産		
投資有価証券	786	783
その他	309	302
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	1,071	1,059
固定資産合計	7,425	7,585
資産合計	15,119	15,382
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,061	3,062
電子記録債務	—	784
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	1,078	1,070
未払法人税等	207	100
賞与引当金	191	91
その他	939	1,496
流動負債合計	6,478	6,905
固定負債		
長期借入金	3,284	3,017
資産除去債務	32	32
その他	771	746
固定負債合計	4,088	3,795
負債合計	10,567	10,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	2,366	2,513
自己株式	△42	△42
株主資本合計	4,430	4,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	118
為替換算調整勘定	9	△14
その他の包括利益累計額合計	121	103
純資産合計	4,551	4,681
負債純資産合計	15,119	15,382

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,715	3,627
売上原価	2,876	2,829
売上総利益	839	798
販売費及び一般管理費	512	522
営業利益	326	275
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	2	3
為替差益	—	10
持分法による投資利益	—	6
商標使用料	2	—
その他	4	5
営業外収益合計	9	28
営業外費用		
支払利息	26	15
為替差損	72	—
持分法による投資損失	13	—
その他	0	0
営業外費用合計	113	15
経常利益	222	289
特別利益		
新株予約権戻入益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	225	288
法人税等	78	91
四半期純利益	146	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	146	196

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	146	196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	6
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△10	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	△18
その他の包括利益合計	△142	△17
四半期包括利益	4	179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4	179
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,527	82	105	3,715	—	3,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	—	3	△3	—
計	3,527	86	105	3,719	△3	3,715
セグメント利益又は損失(△)	245	△1	82	326	—	326

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去3百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	3,443	78	105	3,627	—	3,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,443	78	105	3,627	—	3,627
セグメント利益	192	0	82	275	—	275

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。